

# 博士論文審査要旨

## 論文審査担当者

主査	明星大学	教授	垣内国光
委員	明星大学	教授	佐々井利夫
委員	明星大学	教授	岡本富郎
委員	中央大学	教授	松丸和夫

申請者氏名 網野 寛子

論文題目 看護師労働力政策と看護師免許更新制度

—ワシントンDCとオーストラリアの免許更新制度分析—

## 論文内容要旨

現代日本の医療において、看護師労働力確保、および、医療の質確保はもっとも解決を迫られている課題であるといっても過言ではない。本博士請求論文は、看護師労働力問題と医療の質問題の視点から、ワシントンDCとオーストラリアの看護師免許更新制度に着目し、現地に赴いて半構造化面接によるデータ収集を行い、質的研究によって制度の意義と仕組み並びに機能を明らかにして、日本における看護師労働力問題問題解決の示唆を得ようとしたものである。

論文は、ワシントンDCが2年毎、オーストラリアが毎年の看護師免許更新を看護師が就労するための必須条件とし、前者は「国民に対する看護の質を保証する」、後者は「公衆の保護」を免許更新制度の目的としていることを指摘し、両者ともに「安全な実践ができるという証明」と「継続教育による能力維持の義務化」を通じた看護師のキャリアアップ支援、看護師の自立支援を意図していることを明らかにした。

また、更新研修を受けて届けでなければRN（正看護師）として就労できない構造であるため、届けでをしない看護師数の把握が正確に行われるとともに、問題のあるRNの特定な看護師も把握され、看護師労働力の需給状況の重要な情報として活用されていることが分析されている。

これらの知見をもとに、論文は、公的資金が投入され多数の看護師が養成されているにもかかわらず、多くの看護師が潜在化し看護師不足となるとともに看護コンピテンスの向上の見られない日本の状況を打開するために、看護師免許更新制度を日本に導入すべきであるとの提言を行っている。

## 論文審査の結果要旨

本論文は、ワシントンDC及びオーストラリアの看護師免許更新制度の文献、及び、同制度運用の中核を担う担当者にたいする詳細なヒアリング逐語録データを使って2カ国の看護師免許更新制度を分析し、看護師免許更新制度が看護師労働力確保策として意義があるにとどまらず、高度医療を推進し医療の質を維持し向上させるために不可欠な制度であることを実証的に分析した。

外国の看護師免許更新制度について紹介さえ十分に行われてこなかった状況のもとで、2カ国の看護師免許更新制度を分析しその意義を明らかにし、これまでの日本の看護師労働力分析に新しい知見を加えた独創的研究として高く評価することができる。筆者の看護と看護教育経験に基づいた問題意識を堅実な論文に結実させた努力に敬意を表したい。

よって、本研究は博士（教育学）の学位を授与するに十分に価値のあるものと認める。

## 試験および試問の結果の要旨

試験はいずれも優秀な成績で合格した。

論文口頭試問では、看護師労働力問題と医療の質問題の幅広い知識を基に的確に応答するとともに、日本の看護師労働力問題の改善方策について明快な見解を示された。博士論文として十分なものであると認めることができる。

以上、論文の審査、試験ならびに口頭試問の結果、審査委員全員一致で合格と判定した。